

京 都 薬 科 大 学 動 物 実 験 計 画 書

学 長 殿

2019.4.1.(改)

<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 変更 (承認番号: )
-----------------------------	--------------------------------------

提出年月日	年 月 日	受付年月日	年 月 日	受付番号	
-------	-------	-------	-------	------	--

研究課題					
------	--	--	--	--	--

動物実験責任者	氏 名	所 属	職 名	教育訓練受講
	フリガナ: E-mail: @	内線:		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

実験実施期間	承認後 ~ 年 月 日	中止・終了等	年 月 日			
施設等	飼育室	実験室				
使用動物	動物種	系統名(性)	匹数	微生物学的品質	入手先(導入機関名)	備考

研究計画と方法	<b>研究概要</b> (研究計画の概要と研究の目的、意義、動物実験の必要性を記入する。)  
	<b>実験方法</b> (動物に加える処置、使用動物数の根拠を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせ、「人道的エンドポイント」についても記載すること。) ・動物に加える処置(苦痛のカテゴリー)  ・使用動物数の根拠  ・人道的エンドポイント

動実様式 1

動物実験実施者 (欄が足りない場合は、裏面のその他必要または参考事項に記載。)	氏名	職名・学生番号	教育訓練受講	氏名	職名・学生番号	教育訓練受講
	フリガナ		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	フリガナ		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	フリガナ		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	フリガナ		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	フリガナ		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	フリガナ		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	フリガナ		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	フリガナ		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	フリガナ		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	フリガナ		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

特殊実験区分 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/>	1. 感染実験 安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2			
	<input type="checkbox"/>	2. 遺伝子組換え動物(微生物等)使用実験 区分: <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A			
	<input type="checkbox"/>	3. 放射性同位元素または放射線使用実験 ( )			
	<input type="checkbox"/>	4. 化学発癌・重金属実験 ( )			
動物実験の種類 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/>	1. 試験・研究	動物実験を 必要とする理由 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/>	1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。
	<input type="checkbox"/>	2. 教育・訓練		<input type="checkbox"/>	2. 検討した代替手段の精度が不十分だった。
	<input type="checkbox"/>	3. その他		<input type="checkbox"/>	3. その他

想定される 苦痛のカテゴリー (選択項目を■)	<input type="checkbox"/>	B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。
	<input type="checkbox"/>	C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。
	<input type="checkbox"/>	D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。
	<input type="checkbox"/>	E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い、またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。
動物の苦痛軽減、 排除の方法 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/>	1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。
	<input type="checkbox"/>	2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。
	<input type="checkbox"/>	3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。(具体的に薬剤名及びその投与量・経路を記入)
	<input type="checkbox"/>	4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。
	<input type="checkbox"/>	5. その他 (具体的に記入) ( )
安楽死の方法 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/>	1. 麻酔薬等の使用 (具体的に薬剤名及びその投与量・経路を記入) ( )
	<input type="checkbox"/>	2. 炭酸ガス
	<input type="checkbox"/>	3. 中枢破壊 (具体的に記入: )
	<input type="checkbox"/>	4. 安楽死させない (理由: )
その他必要または 参考事項	(過去の動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会への申請状況などを記入する。)	
	・遺伝子組換え実験計画書承認番号;	・放射性同位元素委員会承認番号;
	・BSRC 外での動物実験の有無; 有 無 (有の場合は「BSRC 外での動物実験要望書」を別途提出する。)	・BSRC 外への動物搬入の有無; 有 無 (有の場合は「BSRC 外への動物搬入要望書」を別途提出する。)

審査結果	審査終了: 年 月 日
	意見等は動物実験計画書審査記録を参照
	<input type="checkbox"/> 本実験計画は、京都薬科大学動物実験実施規程に適合する。 (条件等: ) <input type="checkbox"/> 本実験計画は、京都薬科大学動物実験実施規程に適合しない。 京都薬科大学 動物実験委員長 加藤 伸一 (印)

学長承認欄	承認: 年 月 日
	本実験計画を承認します。 承認番号: 第 号 京都薬科大学長 後藤 直正 (印)